

iRIC ・ RIC ・ iRIC-UC
の三者体制と一部見直しについて
「iRICの理想と現実」

2021年12月24日 清水康行

iRIC 発表当初(2008年から2017年)

iRICの基本理念

共感・賛同

RIC(一社北海道河川財団)

本体・ソルバ・テキストなどすべて**無料**
研究用・教育用・商用などの利用が**自由**

公益事業として

資金援助

限界あり

iRIC研究会

- iRIC本体(GUI)の開発方針・開発
- ソルバーのラインアップ
- Websiteの開発・運営
- Document(マニュアル・事例集)の整備
- 講習会
- 広報(リリース講演会・イベント・SNS)
- ユーザーサポート

賛同

研究者・個人・有志

ボランティアとして

ソルバ開発・ドキュメント執筆
講習会講師・ブース展示

労務提供

限界あり

この結果

個人ユーザー・法人ユーザーの爆発的増加
iRICを利用した業務の簡素化・高度化
学会発表・論文でのiRIC使用例の増加

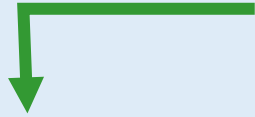
iRICの賜物

2017~2021年

iRIC研究会

iRICの三者体制

指示・依頼



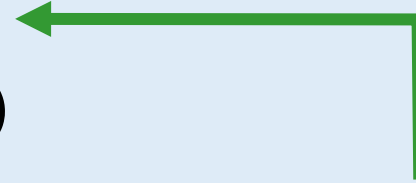
iRIC-UC

iRICの実働部隊

iRICに関する企画・計画

- iRIC本体(GUI)の開発(方針)
- 各種イベントの企画・計画
- Websiteの仕様・広報
- ソルバを含むiRIC全体の運営方針

iRIC-GUIの開発
資金バックアップ



RIC(北海道河川財団)

iRIC本体開発のスポンサー

マンパワー・活動資金



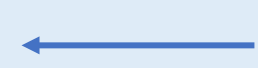
会員制

法人会員・賛助会員

会費資金源

個人会員

マンパワーを期待



- iRIC周辺環境のサポート
- iRICサーバーの管理・運営
- Websiteの作成・維持管理
- 地理情報・降雨情報のDBの作成と会員への提供
- 講習会・シンポジウムの実施
- (会員限定)ソルバ・ドキュメント開発(のサポート)

iRIC-UCの理想と現実

理想論

My fellow Americans, ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country. (J.F Kennedy. 35th President of USA)



国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるのかを問うてほしい(米国35代大統領 J.Fケネディ就任演説)

iRICがあなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたがiRICのために何ができるのかを問うてほしい。

- 今まで無料のiRICから受けて来た恩恵をiRICに還元したいと思う人たちの集団
- iRICの継続的発展のために資金を拠出(会費)してくれる人たちの集団
- 未来のiRICのために投資(会費・労力)してくれる人たちの集団
- 自分の持っている技術力・ノウハウを不特定多数のiRICユーザーや、潜在的iRICユーザーに提供してくれる人たちの集団

多くの会員の皆様から献身的なサポートを頂きました。

- イベントの企画・運営・裏方
- ドキュメント類の作成
- ユーザーサポート
- 総務

ただし、こんな声も・・・

会員になるメリットは何ですか？

- もともとフリーなのだから別にこちらから何かを提供する必要はないのでは？
- 会社に対して会費の拠出や、労務を提供することに対する説明が難しい。

そこで、なんとか**会員のメリット**が出るような取り組みをしました…

「会員先行公開ソルバ」「会員先行公開ドキュメント」「会員専用データアクセスサイト」
「会員向けのシンポジウム」「会員向けの情報サイト」・・・

しかし…

★先行公開と言っても・・・

- ・ 「先行」なので、いずれは一般公開→次の球を用意しなければならない？
- ・ 反応が無いので、効果も不明。役にたっていないかも？
- ・ ソルバやドキュメント類の乱立になって、かえって混乱

★ボランティアによるドキュメント作成や事務作業

- ・ 周囲の目があるので会社で堂々とはできない。
- ・ 会社の仕事が優先するので、iRIC-UCの仕事は休日や帰宅後にやるしかない。

さらに・・・

- ・ 皆、組織の人間で、当然そちらの仕事が優先
- ・ iRIC-UCとしてやるより、個人・会社でやって、個人の利益や会社の業績につなげたほうが良い。

- ・ ある意味当然、iRIC-UCはプロダクションでは無いの・・・でも・・・
- ・ では今までボランティアでやって来た人間は何のため？

結局 . . .

- 現行の会費収入ではWebsiteメンテ, サーバーレンタル, データーサイト構築・運営, 諸費用などで一杯, 新たな企画・展開への投資は出来ない
- 理想を掲げてても結局ボランティアでは限界, 長続きしない. 外注のための費用が必要.

iRIC-UCの活動資金増を目指して . . .

法人会員の拡大で収入増を目指す.
法人会員のメリットを増し, それを強調する.
法人会員・賛助会員・個人会員の3本建ての見直し, 一本化

→ 本日皆さんで議論お願いします.



それと . . .

iRIC-UCに集中してしまった諸活動の一部を**iRIC研究会**に戻す

→ これについてはすでに一部動いています. 例えば . . .

iRIC研究会の機能停滞

iRIC研究会の会長の交代(竹林先生)による活性化.
三者体制の見直し

ソルバーの乱立, サポート終了・休眠ソルバー

どのソルバが多すぎてどれを使えば良いのか混乱する. 新ソルバーのバグ対応が出来ない. →iRIC研究会で交通整理

iRICユーザーサービスの低下

Websiteのフォーラムへの対応が遅れ. もしくは停止.
フォーラムサービスをiRIC研究会やRICで援護

iRICサポートのためのマンパワー不足

RICで専従職員の確保(コンサルタントからの出向者)

コロナ禍での活動制限

iRIC-UCによるオンラインワークショップの連続実施, その後オンライン座談会として継続
iRIC研究会によるオンライン講習会の企画

海外交流の見直し・活性化の必要性

iRIC設立当初からのカウンターパートJon NelsonはUSGSを退職し, USGSとの交流は疎遠化すると思われる

新たな海外との交流窓口の開拓が必要

これらを含めて現行三者体制の微修正

- 中長期的な見通しを持った取り組み
- 特に、**iRIC-UC**は長期的で安定した健全な資金計画が不可欠